

妙高山の火山活動解説資料（令和3年4月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・ 噴気など表面現象の状況（図1～3）

新潟県消防防災航空隊の協力により20日に実施した上空からの観測では、前回（2020年4月）の観測同様、火口原南側の地獄谷噴気地帯から噴気が上がっているのが確認されました。その他の場所では噴気は確認されず、熱映像装置による観測でも特段の変化は認められませんでした。



図1 妙高山 図2及び図3の撮影方向

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ (https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php) でも閲覧することができます。

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『電子地形図（タイル）』を使用しています。

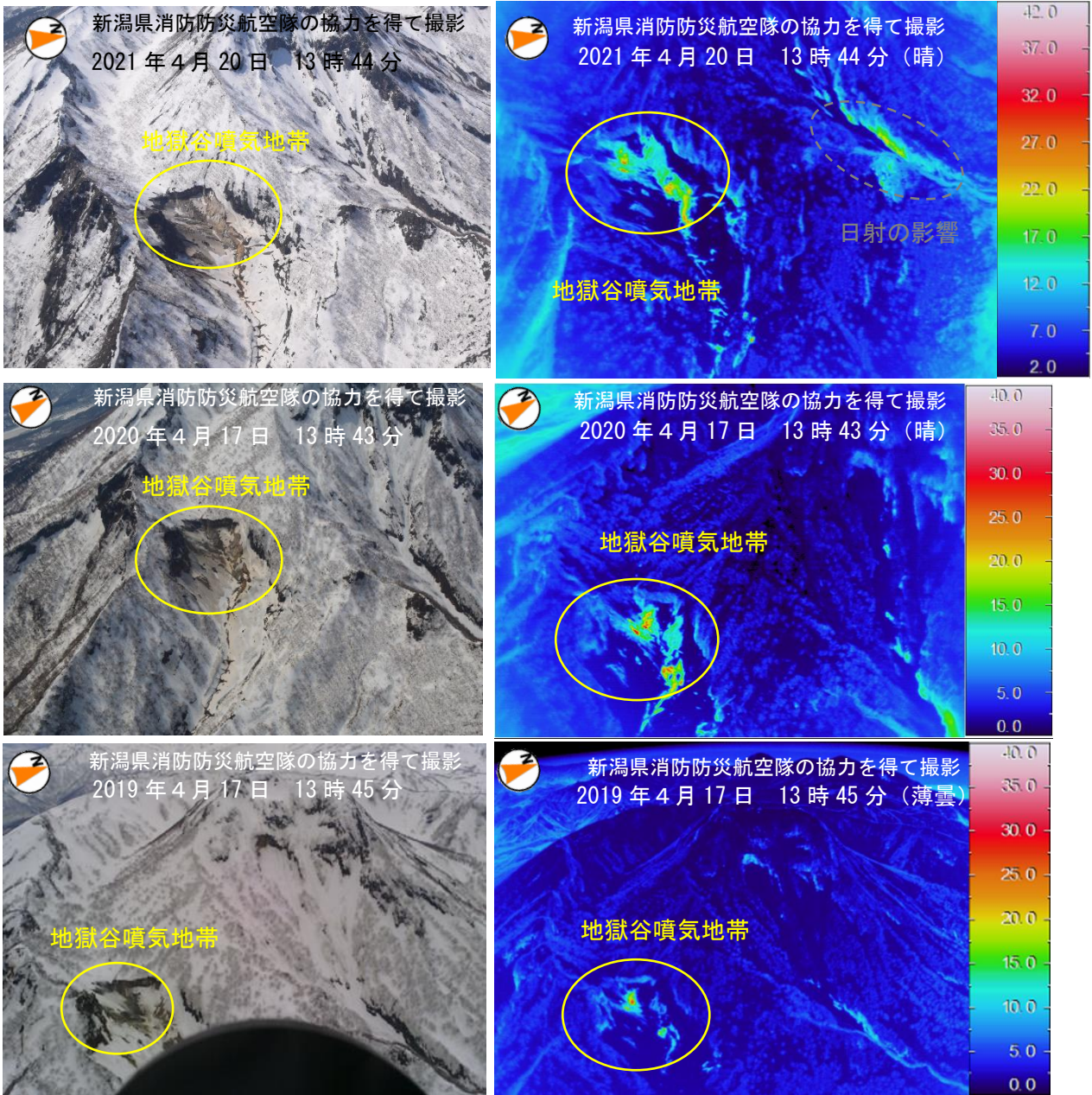


図2 妙高山 噴気地帯の可視画像および赤外熱映像装置による地表面温度分布

- ・ 火口原南側の地獄谷噴気地帯から、20～30m程度の噴気が上がっていることを確認しました。
- ・ 噴気地帯の様子に特段の変化は認められませんでした。

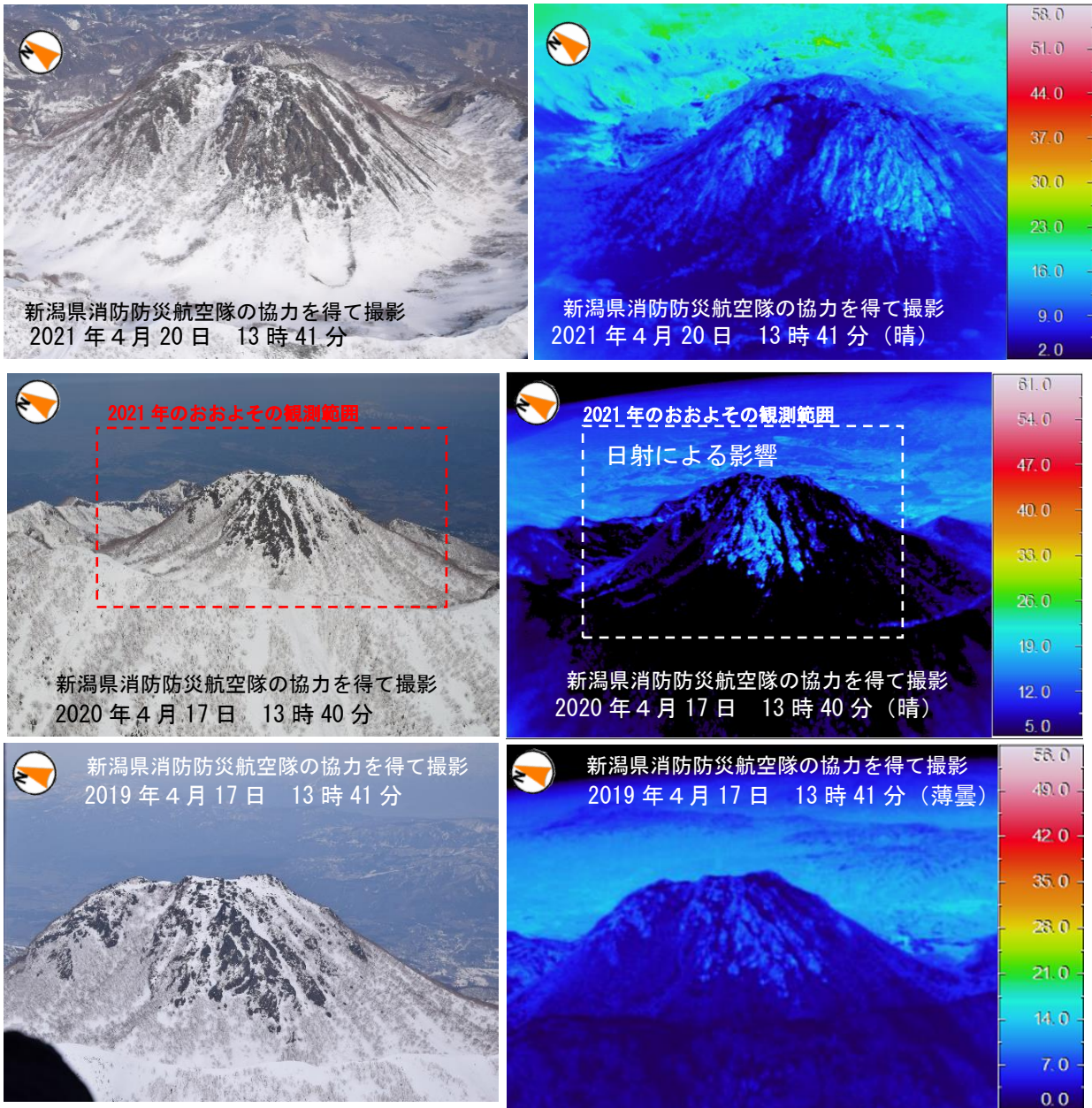


図3 妙高山 山頂付近の可視画像および赤外熱映像装置による地表面温度分布

- ・赤外熱映像装置による観測では、山頂付近で異常はみられませんでした。